

T22, T24イナズマアンカー施工方法

(鉄筋に干渉されない接着系偏心あと施工アンカー工法)

スエヒロシステム株式会社



〒541-0046
大阪市中央区平野町 1-6-8-201
TEL : 06-6203-2284
FAX : 06-6203-1136
info@suehiro-sys.co.jp
https://suehiro-sys.co.jp/
アンカー事業部：末廣

- ① イナズマアンカーボルトと接着剤を用意。
(接着剤はイナズマアンカーボルトに付属しております)



T 型

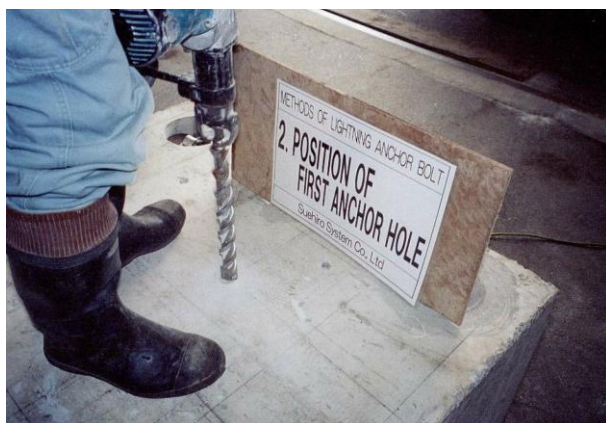
<必要特殊工具>

- ① $\phi 38 \times 3000$ 以上のドリル
- ② $\phi 100$ ハンドグラインダー
- ③ $\phi 100$ ダイヤモンドカッター刃
- ④ 接着剤 (付属品)
- ⑤ 接着剤注入ガン
(注入ガンは必要によりご注文ください)



T 型

- ② 墨出し位置に穿孔し、鉄筋と遭遇。(第 1 アンカーボルト孔が鉄筋と遭遇)



<マーキング及びアンカーボルト孔穿孔>

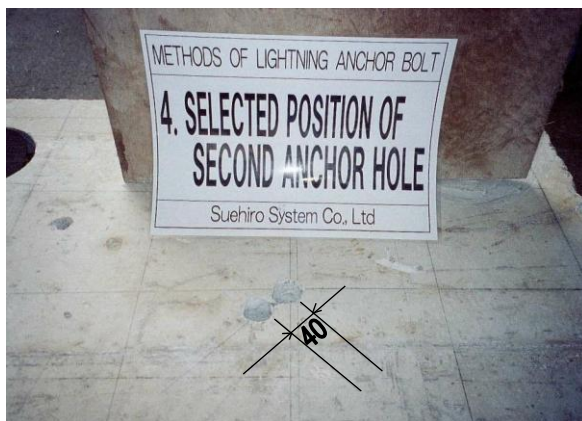
M22 のケミカルアンカーボルト用に、 $\phi 28$ ~ $\phi 32$ のドリルで穿孔します。



＜穿孔位置に鉄筋干渉＞

鉄筋と遭遇したら穿孔を中断し、清掃を行い、鉄筋の配置方向を確認してください。

- ③ 第 1 アンカーボルト孔より、偏心距離※（40mm）斜め方向に、第 2 アンカーボルト孔位置をマーキングし、穿孔する。 → 正規寸法長さの穿孔ができる。

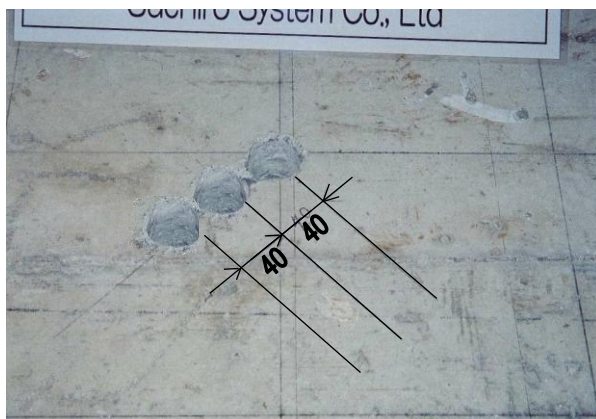


＜第 2 アンカーボルト孔の穿孔＞

第 1 アンカーボルト孔芯より、鉄筋が存在しない方向に 40mm 偏心させた位置に $\phi 38$ キリの孔を深さ 257mm まで穿孔してください。（斜め方向が鉄筋の存在する確率が低い）

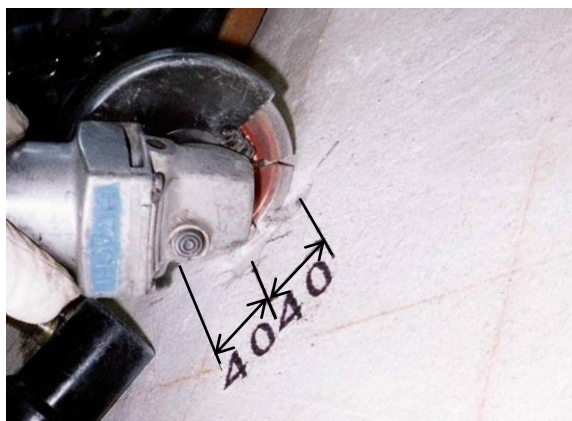
さらに、第 1 アンカーボルト孔も $\phi 38$ キリで、大きくしてください。

- ④ さらに 40mm 斜め方向に深さ 55mm の穿孔を行う。



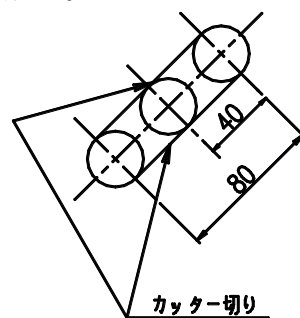
＜さらに 40mm 偏心して第 3 の穿孔を行う＞

- ⑤ 3つのアンカーボルト孔を連結する。
ダイヤモンドカッターでコンクリート表面を切り込み、ドリル刃を左右に回転しながら動かして研る。

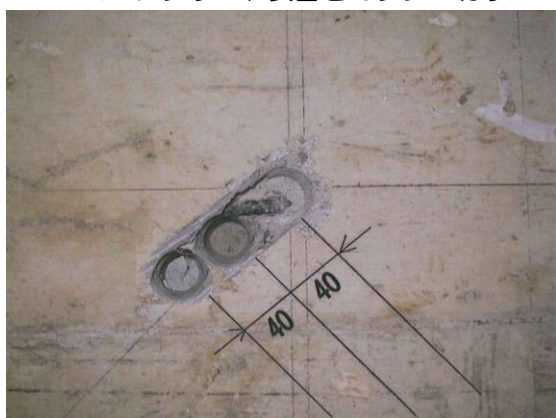


＜コンクリート表面をカッター切り＞

2つの孔の外側を結ぶように、カッター切り込み線を入れる。



cf.
添付穿孔要領
をご参照くだ
さい。



＜アンカーボルト孔連結＞

イナズマアンカーボルト連結部がすっぽり入り、連結部がコンクリート表面より5～7mmほど窪む連結孔をあける。（接着剤を注入する前に、イナズマアンカーボルトをセットして、すっぽり収まることを確認して下さい。）

- ⑥ 穿孔部をブラッシングする。
- ⑦ ブロワーにより清掃する。
- ⑧ 穿孔部を再度ブラッシングする。
- ⑨ ブロワーにより再度清掃する。
- ⑩ 接着剤を注入する。
（当社指定品を必ず使用して下さい）

穿孔部の清掃がアンカーボルト付着力の決め手です。
ブラッシング・清掃を2回ずつ繰り返してください。
水分は乾燥させてください。



＜接着剤注入＞

- ⑪ イナズマアンカーボルトをクッションハンマー等で打込む。(あるいはボルト頭を養生して手で押し込む。)



<イナズマアンカーボルト取付>

イナズマアンカーボルトの連結部表面が、コンクリート表面から 5~7mm 窪むように設置してください。

- ⑫ イナズマアンカーボルトセット完了



<イナズマアンカーボルト取付完了>

接着剤はコンクリート表面（壁面）と平滑に仕上げ、余った分はヘラ等で取り除いてください。また、仕上げ時にコンクリート粉を表面に撒くと美しく仕上がります。その後、24 時間養生して完成です。

- ⑬ 引張試験



<引張試験>

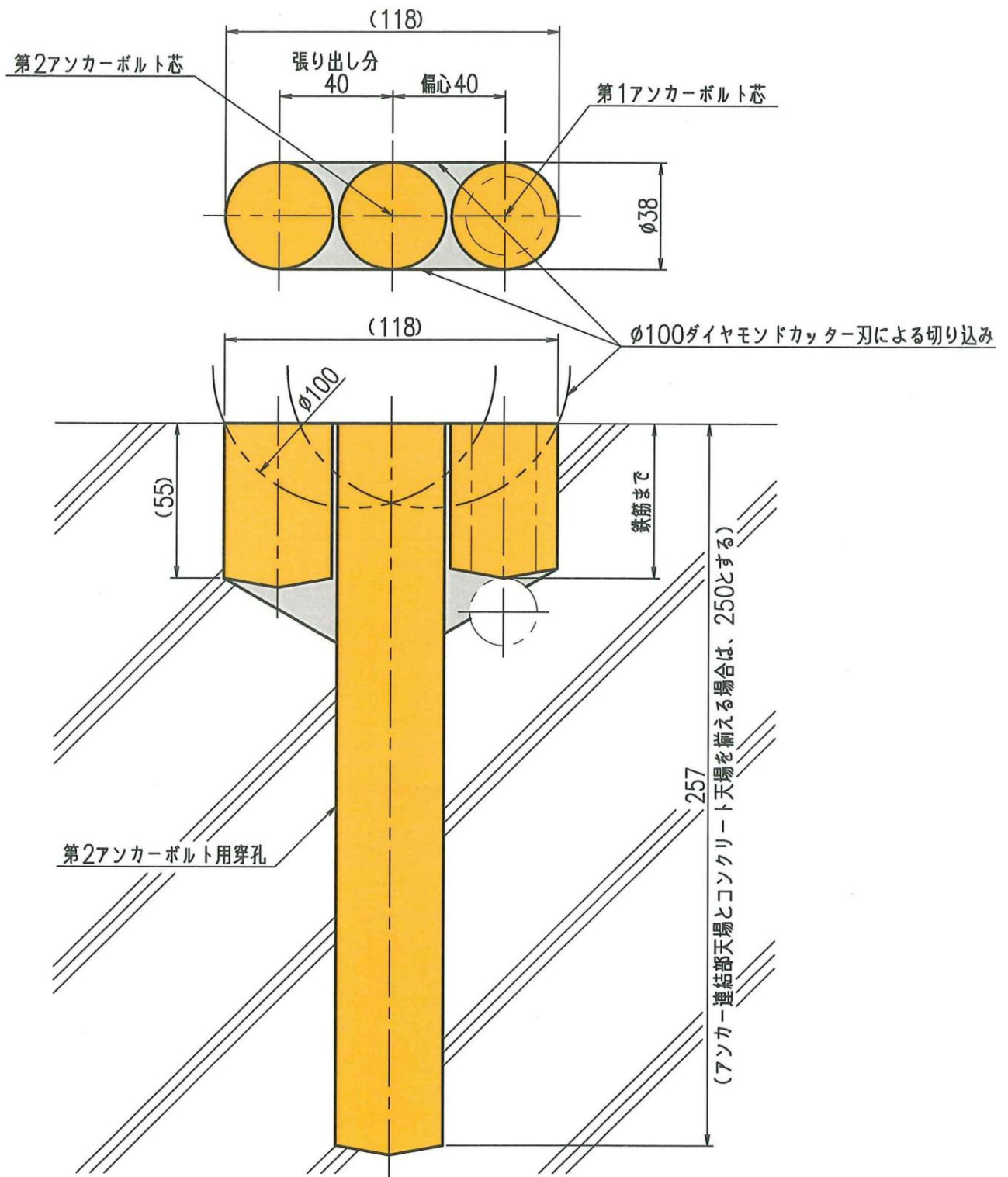
24 時間養生後、アンカーボルトの引張試験を実施して下さい。

この時、連結部の上面に空間を設けて、試験を行って下さい。

引張力は、日本デコラックス(株)標準タイプケミカルアンカーR-22、R-25 長期許容引張強度を参考としてください。T22（ネジ部 M22）の長期許容引張強度は 47.4kN、T24（ネジ部 M25）の長期許容引張強度は 55.3kN としてください。

T22×D40の穿孔要領

T24×D40の穿孔要領



穿孔部分

連結部分 (ドリルを回転しながら横移動させ削る)

cf. () 寸法は状況判断必要。